ネットを騒がせた「炎上」「祭り」「犯罪予告」

掲示板、ブログ、SNS、プロフ(＊1)などは双方向の特性を享受できるサービスだが、人間の過ちを拡大・深刻化させる危うい装置としての面もあわせ持っている。ブログやSNSに批判を中心としたコメントが殺到する「炎上」、掲示板にスレッドが乱立して異様に盛り上がる「祭り」などは、その危うさを私たちに教えてくれる。

2007年から2008年にかけて、「セキュリティ通信」(＊2)で取り上げたネットの騒動を追ってみた。

悪事が露見、「祭り」で大騒動に

動物虐待やいじめ、キセルなど個人の悪事がネットで露見し、個人情報がさらされて大々的に糾弾されるという騒動が相次いだ。

2007年3月、会社員の男がフェレットを虐待している映像をネットで公開。映像を見た人たち多数が警察に連絡し、男は翌月に逮捕された。6月、さいたま市の高校生が同級生に殴る蹴るの暴行を加え、その様子を携帯電話で撮影して動画サイトに投稿。批判が巻き起こって祭り状態となり、生徒が通う高校はホームページで見解を公表する事態に。同月、当て逃げの被害者が事故の様子を車載カメラで写した映像をブログで公開。犯人を追及する動きがヒートアップし、加害者の勤務先に抗議の電話が殺到するなどの騒ぎに。加害者は懲戒免職となった。

9月、新聞で報じられた「鳥取砂丘落書事件」の実行者を探し出す祭りが起こり、ブログの書き込みなどから特定された学生たちの個人情報がさらされた。同月、男子大学生がキセル行為を企てたことなどをSNSの日記に書いたことが発端となり、過去の悪質行為が次々発掘され祭り状態に。学生がSNS退会後も大学や就職内定先企業に電話やメールが殺到し、近所にはビラがまかれるなどの異常事態へ発展した。

11月、女性タレントが公式ブログで殺人事件の家族について不適切な発言をし、コメント欄が炎上。芸能活動を1年間休止する事態となった。12月には、吉野家のアルバイト店員による「テラ豚丼」事件、ケンタッキーフライドチキンでゴキブリを揚げたという高校生の虚言事件が起き、それぞれ当人だけでなく企業をも巻き込む騒動に発展した。

大学教員の個人ブログで名誉毀損論や失言騒動

大学教員のブログを舞台にしたトラブルも目立った。2007年11月、A大学院教員のA氏は、自身の個人ブログで、記事にコメントをつけた投稿者がB大学教員のB氏であることを割り出し実名を公開。「イナゴ(＊3)」「間抜け」などと書いた。これに対しB氏は自身の個人ブログで反論。このやり取りを読んだC大学教員のC氏が、A氏の発言は名誉毀損に当たるのではと自身のブログで指摘した。A氏はそのような記事こそ名誉毀損に当たるとし、「記事を削除しなければC大学に通報する」旨のメールをC氏に送付。C氏はこれに応じずA氏のメールをブログで公開。A氏はブログでC氏を批判するとともに、C大学学長宛ての公開質問状を掲載した。

2008年4月には、D大学の教員が個人ブログに書いた光市の母子殺害事件に関する発言に批判が集まり、祭り状態に。こんな人物を教壇に立たせていいのかという批判が勤務先のD大に殺到し、同大学長は不適切な記述だったことを詫びる学長見解を同大ホームページに掲載することとなった。

掲示板の殺人予告、プロフの傷害事件も多発

年度末の2008年3月には、いたずら半分に殺人や爆破予告を書きこんだ小中高生らの補導や逮捕などが相次いだ。動画投稿サイトのコメント欄に「埼玉県の小学校の女児を殺します」と書き込んだ小4女児、掲示板に福岡県内の小学生殺害を予告した小6男児、福島県の小学生殺害を予告した18歳少年、神戸の小中高のテロ予告をした高2男子、和歌山の中学生殺害を予告した中3男子、イー・モバイルの爆破を予告した高1男子など。通報を受けた警察、連絡を受けた県や市町村の教育委員会は対応に追われ、書き込んだ子どもたちは、いたずらだったではすまない処置を受けることとなった。

プロフの書き込みトラブルでは、予告ではすまず、実際の傷害事件が頻発している。2007年6月に高校生ら10人が決闘容疑で、8月には高1男子ら10人、12月には中2女子ら9人が傷害容疑で逮捕、または児童相談所に送致されている。2008年4月には17歳の少年が金属バッドによる殺人未遂で逮捕され、被害少年は意識不明の重体に。いずれもプロフの書き込みトラブルが直接的原因となっている。

頻発するネットのトラブルは、私たちが双方向メディアというツールを手にするようになってまだ日が浅いことを思い知らせてくれる。これを安全に使いこなせるようになるまでには、まだ混乱の日々が続きそうだ。

（現代フォーラム「セキュリティ通信」編集部）

（＊1）プロフ　自己紹介を中心としたコミュニケーションサービス
（＊2）セキュリティ通信　http://www.so-net.ne.jp/security/index.html
（＊3）イナゴ　炎上ネタにコメントを寄せる投稿者の俗称「ネットイナゴ」の略称

インターネット白書／©1996-2012 Impress R&D

［インターネット白書ARCHIVES］ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

http://IWParchives.jp/

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

●記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。

●収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。

●著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。

●このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。

●収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。

●オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先 | 株式会社インプレスR&D | ✉ iwp-info@impress.co.jp

©1996-2012 Impress R&D, All rights reserved.